

旧東海道「箱根八里」街道資源の観光化に向けた交通体系強化社会実験（静岡県三島市）

1. 実験実施の背景

- ・『箱根八里』は静岡県と神奈川県にまたがっており、県境や峠が『箱根八里』の一体的な活用を阻み、西坂側（三島市）と東坂側（小田原市、箱根町）とでは、観光入込客数に格差がある
- ・静岡県側と神奈川県側の公共交通の事業者が異なり、乗り継ぎなしで箱根峠を越える公共交通がなく、2次交通の強化が課題

2. 検証項目

- ①カーシェアリングの試行（増強）
- ②路線バスの増便の試行
- ③案内休憩所の設置
- ④街道案内及び物品販売の実施（山中城跡）
- ⑤『箱根八里』歩行者数の把握
- ⑥全ての交通手段利用者の行動パターンの把握
- ⑦地域活性化への効果検証

3. 実験内容

【実験地域】 箱根八里「東坂」「西坂」（小田原市、箱根町、三島市）

【実験内容】

- ①カーシェアリングの試行（レール&カーシェアリング&バス）
- ②路線バスの増便の試行（レール&バスライド&ウォーク）
- ③地域との協働による観光客の受入れ拠点設置の試行
- ④旧東海道『箱根八里』及び国道1号の道路空間を活用した賑わいづくり

【実施期間】 平成29年10月28日（土）～平成29年11月26日（日）



図-1 位置図



図-2 路線バスの増便実験



図-3 山中城跡案内所

①三嶋大社宝物



図-4 カーシェアリング実施状況

4. 検証結果

- ①カーシェアリングの試行(増強)
 - ・カーシェアリングの利用は**前年同月比の16倍増**
 - ・主要鉄道駅から「箱根八里」が近いため、短時間の利用が多い
 - ・90%の人が「利用しやすい」と回答し、**満足度が高かった**
- ②路線バスの増便の試行
 - ・バス増便数1.4倍に対して、上下線ともに**前年同月比約2.5倍増加**
 - ・「利用しやすい運行間隔」が63%にとどまった
- ③案内休憩所の設置
 - ・79%が「設置効果あり」と回答し、**利用者のニーズは高い**
 - ・地域の担い手不足、**採算性が課題**
- ④街道案内及び物品販売の実施
 - ・山中城跡の**入込客は対前年比112%、売上金額は対前年比140%**
- ⑤『箱根八里』歩行者数の把握
 - ・実験期間中の歩行者は、期間外と比較して**約1.5倍**
- ⑥全ての交通手段利用者の行動パターン把握
 - ・三島駅を起点として「箱根八里」を巡るコースの割合が高い
- ⑦地域活性化への効果検証
 - ・賑わいイベントにより立寄り客が増加し、**活性化に貢献**

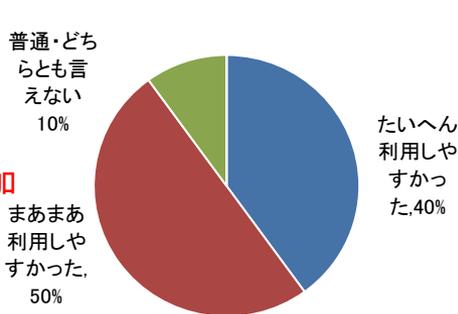


図-5 カーシェアリングへの乗り換え

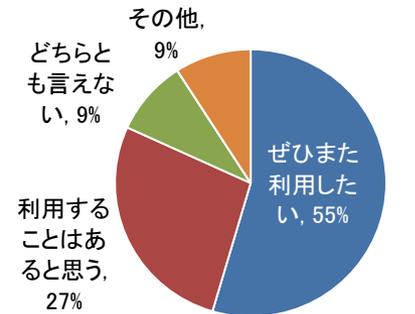


図-6 今後のカーシェアの利用意向

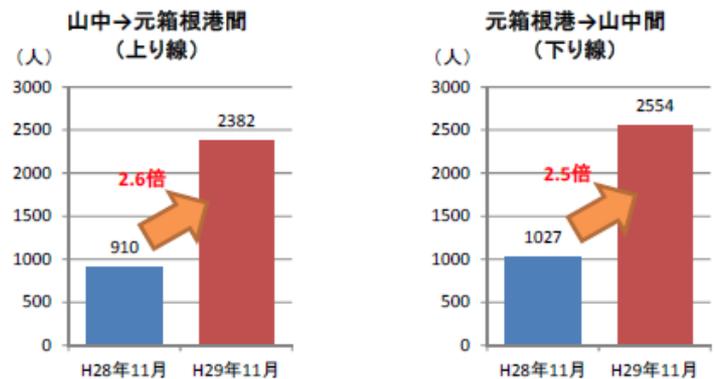


図-7 路線バスの乗車人員の比較

5. 実験後の展開、明らかになった課題等

- ①「箱根八里」の街道歩きを支える鉄道からのモーダルコネクトの強化
 - ・乗り捨てシステムと車両回送費用負担、採算性を含め引き続き検討
- ②地域との協働による観光客の受入拠点設置の試行
 - ・「箱根八里」を紹介する案内所や街道を歩く人のための情報提供・休憩所としての機能、設備の拡充
- ③旧東海道「箱根八里」及び国道1号の道路空間を活用した賑わいづくり
 - ・「箱根八里」の街道歩きを支える情報発信施設の整備、WEBサイトの作成